鶴報

第２４０号
2020年３月１日

日本大学鶴ヶ丘高等学校　広報部
東京都杉並区和泉２－26－12
TEL　03−3322−7521（代）
http://www.tsurugaoka.hs.nihon-u.ac.jp

第２学年　カナダ修学旅行

学　校　行　事　《第３学期》

１月８日　始業式
　９日　２年　実力養成講座開始（～２月22日）
　16日　１年・２年特進　実力試験
　17日　２年特進　実力試験
　22日　推薦入学試験（普通・特進）
　24日　実用英語技能検定（１・２年全員受験）
　25日　ＡＯ・公募推薦入試合格者報告会
　29日　２年　志望理由書講座
２月１日　３年　学年末試験
　５日　１年　小論文講座
　　２年　志望理由書サポート
　６日　１・２年　芸術鑑賞会
　10日　一般入学試験（普通・特進）
　12日　１年　小論文試験
　　２年　実力試験（～13日）
３月１日　第69回卒業証書授与式
　３日　１・２年　学年末試験（～６日）
　７日　新入生招集日
　９日　答案返却授業
　10日　一般入試合格者報告会
　11日　１・２年　ポートフォリオ入力日
　18日　普通救命講習会
　19日　令和元年度修業式
　21日　春期外部特別講座（～26日）

令和元年度　第69回卒業証書授与式

卒業おめでとう

第六十九回卒業式が、令和二年三月一日（日）、本校体育館にて挙行された。三三四名（男子一五〇名・女子一八四名）の卒業生が、数々の思い出と未来への希望を胸に新たな一歩を踏み出した。

―式次第―

開式
国歌斉唱
卒業証書授与
　総代　津田　藍香（深川五中）
日本大学学長賞
　髙橋　わかば（喜多見中）
優秀賞　学術・文化部門（団体）
　代表　齋藤　柊（松濤中）
優等賞
　代表　鈴木　華恵（府中六中）
皆勤賞・精勤賞
　代表　窪田　明日香（上石神井中）
校長賞（皆勤賞受賞者の保護者）
　代表　窪田　里香
生徒会功労賞
　代表　永野　優衣（烏山中）
学校長式辞
　川原　容子
学長告辞
　大塚　吉兵衛
　（代読　生物資源科学部長　大矢　祐治）
学校から卒業生へ記念品贈与
　代表　髙橋　陽南（橘中）
卒業生から学校へ記念品贈呈
　代表　加藤　里悠（浅草中）
同窓会から卒業生へ記念品贈与
　代表　三井　花音（向陽中）
桜園会から卒業生へ記念品贈与
　代表　白鳥　佑斗（東山田中）
在校生代表送辞
　田村　隆太朗（浅間中）
卒業生代表答辞
　影山　颯大（石川台中）
卒業生保護者代表謝辞
　森島　眞江
校歌斉唱
送別の歌斉唱
閉式

各賞受賞者

【日本大学からの表彰】
学長賞
　髙橋　わかば（喜多見中）
優秀賞　学術・文化部門（団体）
　演劇部
優等賞
　A　髙橋　陽南（橘中）
　B　窪田　明日香（上石神井中）
　D　岡島　純菜（芦花中）
　　髙橋　わかば（喜多見中）
　E　鈴木　華恵（府中六中）
　F　三井　花音（向陽中）
　G　津田　藍香（深川五中）
　I　加藤　里悠（浅草中）
　J　永野　優衣（烏山中）
　　白鳥　佑斗（東山田中）

【本校からの表彰】
皆勤賞【校長賞】
※〔　〕内は校長賞＝皆勤賞受賞者の保護者に贈る
　A　椎野　圭貴（阿佐ケ谷中）〔玲子〕
　B　池田　広貴（東田中）〔真智子〕
　　窪田　明日香（上石神井中）〔里香〕
　C　荒澤　尚太朗（八王子七中）〔百合子〕
　　野中　かおり（西宮中）〔玲子〕
　　森山　実優（貝塚中）〔富貴子〕
　D　山本　凛花（谷本中）〔静香〕
　　東　結愛（三鷹一中）〔奈穂子〕
　　伊藤　巧真（南中）〔澄江〕
　　木谷　光希（福生二中）〔恵子〕
　　佐藤　亘（第二南砂中）〔ますみ〕
　　高井　麻未（三鷹三中）〔明子〕
　　髙橋　乙歌（本郷台中）〔聡美〕
　　髙橋　わかば（喜多見中）〔絵里子〕
　　村松　あやめ（大沢中）〔敦子〕
　E　秋田　知穂（元郷中）〔美和〕
　　新井　美悠（廿日市中）〔彩乃〕
　　加藤　雅禄（柿生中）〔亜妃〕
　　君和田　佳穂（潮来二中）〔君和田真実子、崎田文〕
　　長岡　志織（鶴見中）〔あずさ〕
　　中野　朱梨（松ノ木中）〔美香〕
　F　辺見　珠里（上野原中）〔好子〕
　　雙木　歩（西中）〔久枝〕
　　綠川　珠菜（深川三中）〔慎〕
　　向井　雅也（国分寺一中）〔雅子〕
　G　太田　魁一（狛江二中）〔今日子〕
　　小川　明日香（稲城六中）〔純子〕
　　新井　萌（区立伊興中）〔郁子〕
　H　荒木　菜々（武蔵野三中）〔恭子〕
　　神保　智佳（高洲中）〔里江子〕
　　伊達　慶治（志村一中）〔美和〕
　　樋口　慧大（御幸中）〔直美〕
　I　鈴木　沙彩（上祖師谷中）〔洋子〕
　　並木　日和（新座中）〔和美〕
　　東埜　莉奈（荻窪中）〔寛子〕
　J　梅津　葵（白鳥中）〔明子〕
　　内藤　奏恵（玉川中）〔麻里〕
　　河邊　咲（板橋三中）〔真〕

精勤賞
　A　栗山　南海（狛江四中）
　　竹田　梨花（第二砂町中）
　B　飯泉　裕陽（中野島中）

香取　柊佑（東山中）
千葉　陽生（岡津中）
松島　恭平（船橋希望中）
岡島　純菜（芦花中）
D　小板橋　正宗（大和中）
鳥海　萌文（清明学園中）
加藤　未奈（千登世橋中）
E　辻　こゆき（南中野中）
池田　唯（神代中）
F　齋藤　柊（松濤中）
島田　鈴子（大森八中）
G　瀬尾　湖都音（清新一中）
竹野　莉子（東原中）
田島　慈子（千歳中）
墳本　隼也（東高津中）
林　愛斗（和光二中）
福本　光莉（国分寺三中）
H　宮道　琴水（府中一中）
I　加藤　里悠（浅草中）
J　奥川　詩織（渋谷本町学園中）
谷合　望々（由木中）

生徒会功労賞

○生徒会長
影山　颯大（石川台中）

○生徒会副会長
加藤　真尋（西池袋中）

○生徒会会計
小泉　慧太（烏山中）

○学級委員
八巻　来夢（西原中）

○風紀委員
齋藤　慶太（篠崎中）

○厚生委員
清野　佑馬（神明中）

○図書委員
永野　優衣（烏山中）

○体育祭実行委員
出口　健（銀座中）

○鶴ヶ丘祭実行委員
木田　七海（烏山中）

○編集委員
鳥羽　遥貴（多摩中）

○選挙管理委員
小山　美奈穂（和泉中）

部活動【体育系】

○スキー部
大月　拓人（稲城四中）
山本　瑛菜（府中六中）

○水泳部
加藤　颯希（小山中）

○陸上競技部
小川　晃生（狛江二中）

○野球部
中島　健輔（聖ヶ丘中）

○サッカー部
嶋根　礼斗（両国中）

○男子バスケットボール部
森島　陸年（港陽中）

○女子バスケットボール部
東　結愛（三鷹一中）

○男子バレーボール部
安達　英治（荒川五中）

○女子バレーボール部
松﨑　春日（軽井沢中）

○アメリカンフットボール部
小林　正太郎（千歳中）

○テニス部
矢田　歩実（上水中）
髙木　良輔（富士見丘中）

○男子ソフトテニス部
石川　雄聖（御園中）

○女子ソフトテニス部
嶋村　南璃（打越中）

○バドミントン部
柳　拓臣（大森二中）
吉永　由希（神明中）

○剣道部
福本　光莉（国分寺三中）

○弓道部
亀山　未侑（府中四中）

○空手道部
腰髙　凌平（和光三中）
軍司　佳歩（三鷹一中）

○ゴルフ部
関根　空瑠美（千歳中）

部活動【文化系】

○写真部
舟田　歌乃（貫井中）

○放送部
木澤　りさ子（南六郷中）

○サイエンス部
芳野　晴臣（泉南中）

○情報部
谷合　望々（由木中）

○英語部
井口　未由希（北沢中）

○演劇部
藤野　茜（お茶の水女子附属中）

○吹奏楽部
竹田　梨花（第二砂町中）

○バトントワリング部
田中　千茜（足立七中）

○カラーガード部
鈴木　華恵（府中六中）

○茶・華道部
奥川　詩織（渋谷本町学園中）

○料理部
池田　眞琴（文京八中）

○書道部
立花　桃茄（三鷹四中）

同好会

○ダンス同好会
服部　花恋（御成門中）

団体功労賞
スキー部
男子ソフトテニス部
空手道部
ゴルフ部
ウエイトリフティング部
放送部
演劇部

【その他からの表彰】

東京都知事より表彰
都知事賞
永野　優衣（烏山中）

日本私立中学高等学校連合会より表彰
会長表彰
影山　颯大（石川台中）

東京都高等学校文化連盟より表彰
文化活動優良生徒
齋藤　柊（松濤中）
藤野　茜（お茶の水女子附属中）

東京都高等学校体育連盟より表彰
体育優良生徒
伊郷　太貴（清明学園中）
軍司　佳歩（三鷹一中）

優秀校
空手道部　女子

何を知りたいか

学校長　川原容子

卒業おめでとうございます。鶴ヶ丘高校での三年間は、充実したものになりましたか？

人生百年時代を迎え、そのたった三年間でしたが、地域のまったく違う多くの仲間と出会い、高校生活がスタートし、切磋琢磨しながら自分と向き合い、大きく成長できたのではないでしょうか。

鶴ヶ丘でのバランスのいい学びを糧に、今後は単一の物差しではなく、オリジナルの物差しに照らして物事を見て、素直に生きていってほしいと心から願っています。

今、皆さんの卒業を前に、思い出す言葉があります。

それは、二〇一八年にノーベル医学・生理学賞を受賞した本庶佑氏の受賞当時のインタビューの中でお話されていた言葉です。「自分が**何を知りたいか**、はっきりしていないと研究というものはつぶれてしまう。何ができるかではなく、何を**知りたいか**であって、できることばかりやっていると目標を失う。常に何を知りたいか問いかけながら研究をやってきた」。さらに、信念としては、「教科書がすべて正しかったら、科学の進歩はないわけで、人が言っていることや教科書に書いてあることをすべて信じてはいけない。『**なぜか**』と疑っていくことが大事」ともおっしゃっていました。これは研究だけではない、人生の目標にもかかわる大切なメッセージだと思いました。

今後の超スマート社会にあって、AIを外付けの脳のように考え、任せていくようではだめだと思います。皆さんには本庶氏がおっしゃるように「**何を知りたいか**」を考えながら挑戦し、生涯をアクティブラーナーとして、ぜひ歩んでほしいと思います。

また私は皆さんに、「人の気持ちを慮ることのできる優秀な頭脳と柔らかい心」を大事にしてほしいと伝えてきました。人を助けて自分のこれからの仕事が成り立ち、また人に助けられて自分の生き方も成り立ちます。

ともすれば、私心に走り私利私欲が先に立つことの多い現代ですが、その中にあっても、自分を見つめて、真摯に向き合い「**何を知りたいのか**」を問いかけながら学び、周囲の人々とは、いかなる時も謙虚に素直に心を通わせる努力をし、協力をしあって、幸せになってほしいと心から思います。

また、日本や世界の課題に果敢に挑戦をしていける、強い気持ちと行動力を発揮する人が一人でも多くいてくれることにも期待しています。

体を大切に、貴方らしく、頑張ってください。心から応援しています。

言葉の花束

卒業にむけて

学年主任　伊沢　康子（数学科）

何者になるにせよ、きっとあなた自身以外にはなれない。

だから、それでいいのだと思う。

それがいいのだと思う。

そういう人生であってほしい。

ご卒業おめでとうございます。

これからが勝負です。

A組担任　加藤　寛典（英語科）

卒業おめでとうございます。高校で身につけた教養を基盤に、それぞれの立場で専門性を磨き、それを活かせる場で活躍することを願っています。学校行事、授業での活動、部活動などの様子を見ていて、皆さんにはそれができる素質があると感じています。社会に出る前に学べる期間は限られています。ぜひ一瞬を大切にしてください。

卒業おめでとう

B組担任　渡邉　美那子（国語科）

ついに卒業ですね。皆さんと過ごす毎日が、私はとても楽しかったです。皆さんの「未来」には、希望しかありません。積み重ねてきた「いま」が「過去」になり、これから積み重ねていく「いま」が「未来」です。だからこそ、常に一日一日を大切に、「いま」を大切に、そして自分を大切に。自分の力を信じて、可能性を信じて、たくさんのことに挑戦して、たくさん幸せになってください。ずっと応援しています。卒業おめでとう。

卒業おめでとう

C組担任　滝澤　満（理科）

『高校生の時にしかできない経験（こと）がある。』

それは、勉強や部活動、そして私生活などすべてにある。

それらを経験し、大きく成長していってほしい、と思ってきました。

この言葉をみんなの卒業にあたり次のように変化させます。

『今しかできない経験（こと）がある。』

とても大切な時間は、まだまだ続きます。

健康第一に、思いやりをもって、新たな出会いを楽しんでください。

君たちならば、素敵に成長していけることでしょう。

卒業おめでとう。

祝　卒業

D組担任　萩生田博美（数学科）

ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆様、現在の自分は、三年前に思い描いた自分と、同じですか？

人生は、「縁」と「縁」が繰り出す物語です。一つの「縁」を大事にすると、その「縁」が、次の「縁」を呼び込みます。

皆様の、今後の活躍を期待します。

かけがえのない自分だから

E組担任　菊山　新士（地歴公民科）

かつて崩壊寸前のフランスを救ったジャンヌ＝ダルクは言った。「私たちが戦うからこそ、神は勝利を与えて下さる。私以外に国を救える者はいません。」と。「きっと誰かがやってくれるだろう」「自分はそんな器じゃないから」こうした事は度々頭をよぎるでしょうが、消極的姿勢では、何も変わりません。皆さんも十七歳のジャンヌ同様、ポジティブにかつ確固たる自己を持って人生の戦場に飛び出していって下さい。

時は金なり、信用なり

F組担任　山口　重喜（保健体育科）

お金を稼ぐ方法を知っていても、貯めることを知らない人は、一生涯精を出して働いたとしても、最後にはわずかばかりのものしか残らない。

与えられた仕事は一生懸命成し遂げましょう。うまい儲け話や一攫千金のような話は避けるようにしましょう。勤勉と忍耐が繁栄をもたらす最も確実な道だということを知っておきましょう。

富への道は「勤勉」と「倹約」。つまり時間もお金も無駄にせず、その両方を最大限有効に活用することです。倹約の習慣は人生を豊かにしてくれる習慣の一つです。残念なことに、私はこの習慣を完全に自分のものにすることはできませんでした。しかし、幸運にもこの習慣を身に付けている人と出会うことができました。私が必要としているものを持っている人は、私にとってかけがえのない存在です。良きパートナーこそ幸せになる近道です。

卒業おめでとう！

G組担任　齋藤　直子（英語科）

長くて短い高校生活が今終わろうとしています。私は担任をした生徒、授業で受け持った生徒、部活動の部員はもちろん、接してきた生徒一人ひとりに思い出があり、愛情を注いできたつもりです。間違ったことをしたら全力で叱り、良いことをしても大きくは褒めません。伝えたいことは全て伝えました。少しでも君たちの心の中に残っていたら教師冥利に尽きます。そして日本大学鶴ヶ丘高等学校の卒業生であるということを誇りに……　卒業おめでとうございます。

卒業おめでとう

H組担任　村山　大輔（国語科）

オリエンのこげたご飯とカレー。おいしかったね。でも、すぐ山登りでしんどかったね。修学旅行。何もかもが新鮮で、眠れないほど楽しんだね。だから起きてこなかったね。アラーム気づかないほど楽しむなって。文化祭のフライドポテト。なかなか揚がらないけど、売れに売れたね。やっぱりうまいのは塩味だったよね。

あ、もう卒業だ。三年なんてあっという間。さみしいね。でも楽しかったね。思い出をありがとう。次も楽しんで。

感謝

Ｉ組担任　浅見　美幸（保健体育科）

「当たり前」のことは何もありません。全てのことに意味や理由があり、周りのたくさんの人によって支えられています。感謝の気持ちを忘れないでください。

また、高校三年間でやり残したことはありませんか？これから先、今しかできないことをその瞬間に、後悔のないよう充実させてください。

人生は一度きりです。何事も全力で、全ての出来事に感謝の気持ちを持って、夢や目標に向かって進んでください。

卒業おめでとうございます。三年生、本当にありがとう。

「終わらない道へ」

Ｊ組担任　竹内　由美（地歴公民科）

高校卒業はスタート。

新しい環境、新しい仲間、新しい自分との出会いが待っている。

人生はいつでもスタート。

だから間違えてもいい。失敗してもいい。

寄り道してもいい。遠回りしてもいい。

スタートを切れなくなったとき、自分の起点を思い出せばいい。

顔を上げて、歯を食いしばって、力の限りもがけばいい。

自分で決める自分のスタート。

それはゴールを目指すことじゃない。

前を向き、まっすぐ自分だけの道を進むためのスタート。

毎日を大切に

副担任　中根　聡（国語科）

具体的には毎日必ず行うことを決めてはどうでしょう。毎日といっても週四日ほどのペースで、気持ちをゆったりと。とりあえず三ヶ月後の自分を想像しながら。

全てが大切なこと

副担任　黛　京子（地歴公民科）

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。これからは今までのように、いつもそばに先生方がいてくれる環境ではなく、自分で選択していく環境になります。その時、自分にとって最良の選択ができるといいですよね。もし、選択に迷ったら、今まであなたが学んだこと（学校の勉強や、周囲の人々の言葉や態度）を思い出してください。きっと最善の選択ができることでしょう。この学校での三年間はあなた方にたくさんの栄養を与えてくれているはずです。ときには温かい日差し、ときには冷たい雨や風の時もあったと思いますが、それがすべて栄養になっているはずです。今までの全てが、あなたの力となっています。自信をもって歩んでいってください。

卒業する皆さんへ

副担任　石山　道宏（数学科）

卒業おめでとう。次の言葉を送ります。

Go for it！

意味は調べてください。

失敗を恐れず何事にも挑戦を

副担任　吉江　祐治（保健体育科）

「高校時代は代表チームの選考から漏れた。九〇〇〇回以上シュートを外し、三〇〇試合に敗れ、決勝シュートを任されて二十六回も外した。人生で何度も何度も失敗してきた。だから私は成功した」〈マイケル・ジョーダン（元ＮＢＡバスケットボール選手）〉　また、「挑戦することを恐れるな、自分が挑戦しないことを恐れろ」とも言っています。失敗を恐れず挑戦し続けることが、成功の秘訣。何事にも挑戦を！

卒業おめでとうございます

「未来へ向かって」

副担任　田口　裕基（英語科）

本年度、突然、この学年に学年付きとして配属されて、英語表現の授業をＢＣＩの三クラスで担当しました。わずか一年足らずの付き合いでしたが、大変、楽しく授業をさせてくれたことに感謝しかありません。最後に、授業の復習。キミは標題を英語にすると次のどっちにしますか？To your futureそれともFor your future？『〇〇〇のto』と『〇〇のfor』。

キミたちにはどんな「未来」が待っているんだろうか。いずれにせよ、I'm looking forward to seeing you again in the near future！

卒業生の言葉

―三年間の思い出　そして後輩たちへ―

十分と充分

三年D組　影山　颯大（石川台中）

私の三年間は、充実していたのかもしれないと思う。もちろん他人と比べることなどできないし、充実差の感じ方など人それぞれであるので分からないが、充実していたと私は思う。それの根源となるものは、一体どこにあるのであろうか。考えてみればとても簡単な話だった。私は、今まで手にすることができなかった、素晴らしい仲間に出会うことができたのだ。「素晴らしい」普通の人がこれを聞けば何とも薄っぺらくて笑ってしまうのかもしれない。しかし、私には「素晴らしい」という一言でしか表せない。私の持つ語彙が少ないだけなのかもしれないが、私が高校生活で手にした仲間は紛れもなく素晴らしい人であることに変わりはない。当たり前のことを当たり前のようにしてくれる、これが私にとっては最もうれしいことであった。私が一年生の時、居場所を見失った私に新しい居場所へ誘ってくれた。ひねくれた性格から目を背けず、この性格が直るように向き合ってくれた人もいた。今日この日まで、人生に二度とない高校生活を充実させてくれた仲間には、本当に心からの感謝を伝えたい。

さて、私はこの三年間でいったい何を得たのだろうか。無論、素晴らしい仲間というのは決まっているが、それによって何を得たのか。それはおそらく、人と真剣に向き合う度胸であろう。今まで正面から向き合うことを恐れ、逃げてきた自分を捨て、信頼できる人とまっすぐに向き合うことができた。これは非常にこころが満たされた気分になった。

私は高校生活で、十分すぎる仲間を手にし、こころが充分満たされた。

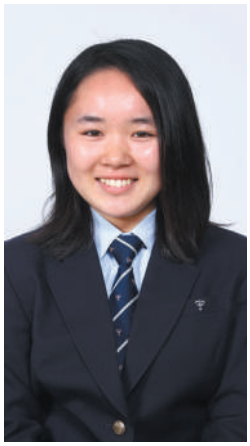
進学先：明治大学総合数理学部
ネットワークデザイン学科

目標と達成の三年間

三年F組　関根　空瑠美（千歳中）

鶴高での三年間を終えて、私の学校生活を象徴するものは何か考えてみると、「海外語学研修」と「部活」だと思う。

まず、ケンブリッジ大学における「海外語学研修」は私の入学前からの目標だった。志望校を決めるより先に、「スピーチコンテストで成績を残してケンブリッジ大学に行きたい」と決めていた。実際にケンブリッジ大学への研修が決まると、その研修は忘れられない十八日間になった。世界第二位の大学・ケンブリッジ大学の先生の授業を受けたことや、その学生と仲良くなれたこと、何より英語に対してストイックな生徒ばかりが集まるこの研修は私にとって良い刺激になった。



「部活」では、ゴルフ部部長として活動した。部活をまとめることにとにかく苦悩した一年だった。東京の高校で、ゴルフ経験者が何人も集まることは難しい。しかし、部員が三年間一度も試合に出ずに卒業するのはもったいないと思い、「みんなで試合に出ること」「個人戦だけでなく、団体戦に出場すること」が目標だった。苦悩はしたが、その想いをかなえてくれた同級生や後輩にはとても感謝している。また、合宿や大会に参加することで一人では積めない経験をたくさん積むことができたため、大学生活の基盤となったように思う。

私が日大に進み、英語の勉強とゴルフを両立しようと改めて思ったきっかけは鶴高での三年間だ。貴重な経験を積ませてくださった先生方や、私の高校生活に関わった全ての人に感謝している。

進学先：日本大学文理学部英文学科

「感謝の話」

三年G組　齋藤　柊（松濤中）

「高校の三年間は本当に楽しいよ。」と言われた。父のことはとても尊敬しているが、その言葉は信じられなかった。正確にいうと、社交的で活発な父の高校生活は楽しかっただろうが、自分にはそれができないと思っていた。人としてたりない部分が圧倒的に多いからだ。人見知りで偏屈で我ながら面倒くさい人間だと思う。そんな私には華やかな高校生活が送れないことはなんとなく感づいていた。周りと同じことをし

ていても、きっとつまらない三年間になってしまう。「他人と違うことをしたい。」という思いに駆られ、元々興味はありつつも、未知の世界であった演劇部に入ることにした。

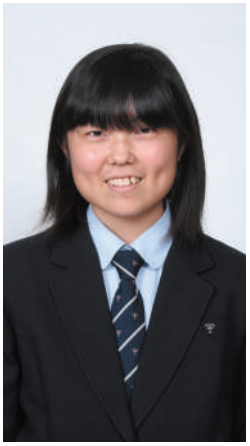
実に運がよかったと思う。たまたま入った演劇部で、ものすごい経験をたくさんさせてもらった。とにかく夢のような出来事が次々起こった。中でも全国大会に出たのは特に嬉しかった。大切なのは結果じゃない、なんてよく言うし確かにその通りだとも思うが、結果がもたらしてくれる喜びは格別だった。演劇を始めてなによりも良かったと思うのが、多くの「出会い」があったことだ。個性的な仲間と出会って、嫉妬したり、仲良くなったりした。自分が多くの人に支えられていることも知った。舞台に立てることや、それを観てもらえることのありがたみを感じ、その度に襟を正さなければと思った。

三年間を振り返ると絶え間なく充実感があった。ひとえに親、先生方、部員等々のおかげだとこの文章を書きながら幾度も思った。本当にありがとうございました。

進学先：日本大学芸術学部放送学科

全力で駆け抜けた三年間

三年J組　河邊　咲（板橋三中）



新しい制服を着て鶴高に入学したのがついこの間のように感じられる。高校生活は充実し過ぎていて、本当にあっという間だった。そう思えるのは、自分の意思を尊重し、やりたいことをやり尽くしたからだろう。

私は特進コースに所属していたが、「高校生活＝勉強」という形で三年間を終えたくなくて、思い切って陸上部に入部した。クラスメイトの多くが放課後に教室に残ったり、上手く時間を作ったりして勉強に励んでいた中、私は部活にのめり込み授業は上の空だった。そんな私を変えたのは一年の夏の三者面談。周りに負けたくないという思いから勉強にも火がついた。以来私は勉強と部活、この二つに無我夢中で取り組んできた。

高校卒業後、私はアメリカの大学に進学する。高校で始めた陸上がきっかけでスポーツマネージメントに興味を持ち、この選択をした。しかし私は、自分がスポーツを学びたいとか、海外の大学に進学しようと思うなんて、思ってもみなかった。この進路の実現には、私が三年間努力して来たすべてのことが生かされていると思う。在校生の皆さんには、自分が今やってみたいと思うこと、興味があることすべてに挑戦してほしい。きっかけはどこに隠れているかわからないし、それが人生を大きく変えるかもしれない。鶴高には、それを支え、応援してくれる先生方、楽しいことも辛いことも分かち合ってくれる友達がいる。私はこの環境で過ごした、人生の中でも特に大きな意味を持つ三年間をきっと忘れることはないだろう。

進学先：University of Central Arkansas

第三十七回文芸コンクール表彰

令和元年日本大学付属高等学校等第三十七回文芸コンクール表彰式、及び懇親会が令和二年二月十九日（水）十四時より日本大学会館大講堂にて盛大に挙行されました。

出席した生徒たちは互いに讃え合い、懇親会でも和やかな雰囲気で交流を深めていました。自由な発想の下、様々な手段で自己表現をすることのできる文芸コンクールに、日ごろから興味関心を持ち、ますます積極的に取り組むことを期待しています。

今後も国語科一同、生徒たちの活躍を応援していきます。

受賞者の皆さん本当におめでとうございます。

俳句の部
佳作　鈴木　蘭乃（2L・向陽中）
佳作　西村　美咲（1F・志茂田中）
佳作　田口　小夏（1L・東田中）

短歌の部
入選　左官　美咲（1J・晴海中）
入選　橋本　楽乃（1K・稲城三中）
佳作　永井　美空（2K・安方中）
佳作　西村　美咲（1F・志茂田中）
佳作　芝田　憩（1H・神代中）
佳作　本郷　未郁（1J・高井戸中）

詩の部
入選　豊島　心子（2A・荻窪中）
佳作　髙瀬　華桜（1E・越谷東中）
佳作　深井　優楓（1E・生田中）

読書感想文の部
佳作　深井　優楓（1E・生田中）

令和元年度AO・公募推薦入試合格者報告会　進路指導部　滝澤　満

１月25日（土）13：30より、図書館２階多目的ホールにおいてAO・公募推薦入試合格者報告会を実施しました。５名の報告者に合格体験談を語ってもらう形となりました。１名につき10分程度で、事前に作成してもらった資料をもとに、入試概要、志望動機、努力したこと、失敗談、小論文や面接等への対策、後輩へのアドバイス等を様々な観点からまとめて発表してもらいました。一人一人が工夫して、後輩へ思いを込めて一所懸命話をしてくれました。

真壁　佳乃子
●日本大学 芸術学部 演劇学科 演技コース

- 書類選考「日芸で学びたいことを自由に表現してください」
- 実技：シアターゲーム（この報告会で１・２年生と実際におこなった。）
- 面接 面接官５人 全国大会で大変だったこと、（直前に書いた書類を参考に）最近見た劇について等。
- 過去の面接記録を見て、対策を練る。
- 試験勉強（がんばろう）。
- 決意を固める！！！！！（面接のため）
- 演劇について色々考える。
- オープンキャンパスや文化祭に行こう！
- 好きなことは続けよう！
- 勉強はやろう（最低点が年によって結構変動します）。
- AOはダメ元で！受かるチャンスが増えるし、後々良い経験になりそうくらいの心持ちで大丈夫です。基礎学でいける！
- 出願などの提出書類の期限に注意！
- 芸術学部を目指す方へ、好きなこと続けてやるんだ！という強い意思！大事！

軍司　佳歩
●慶應義塾大学 環境情報学部

- 私が志望理由書に書いたテーマは「障害者雇用」でした。
- 働く意味などテーマはなんでもOK。ただし、この学校じゃないと実現できない!というポイントをかならずいれた方がいい!
- テーマが決まったら、素材を集める！とにかく、調べる。今その業界で何が問題なのか、どこを改善すれば世の中がうまく回るのか、なぜ解決できないのかを徹底的に自分で調べ、考察する。
- 自分の納得のいく答えが見つからなかったら、実際に現場の生の声を聞く。面接で聞かれた際に説得力が増すし、自分の意見に自信がつく！
- 本を読む（少なくとも10冊くらい）その分野であれば、漫画でも大丈夫！インターネットよりも正しい情報が多い。大事だと思ったところに付箋やマーカーをし、いつでも見返せるようにする。
- １回文字に起こしてみる。最初は800字くらいでも大丈夫！文章はめちゃくちゃでも大丈夫だから、これは入れたい！という内容は必ず入れるようにする。
- テーマをわかっている人だけでなく、いろんな人に添削してもらう。学校の先生や大学の先輩、家族、いろんな人に見てもらう。
- 常に穴や矛盾点を見つける。自分が作り出すサービスや制度によって、どこが良くなって、どこが課題なのか、それによって新たに発生する問題、こういう場合はどうなるの？ということを常に見つけ追求する。
- 一つ一つの活動をきちんと記録する。例えば、部活で賞状をもらって、資料として提出する場合ただ賞状を提出するだけでなく、その中でどんな役割を果たして、どんなふうに頑張ったのかなどを書くと伝わりやすい。大学側も書類審査の際にこの人と面接したい！となる。
- 面接時間は30分。最初は長いと思っていたが、本番は本当にあっという間だったから、なるべく言いたいことをコンパクトに言えるように練習する。
- １、２年生のうちにやっておくといいこと。部活をやっている人や何かに打ち込んでいる人は、中途半端に行わず、何か一つ自分の誇れるものを作る！実績だけでなく、学んだことが大事！
- 受験はもちろん大変でしたが、自分の興味のある分野を突き詰めて研究するこの受験方式は、とても魅力的で、調べていくのが楽しい時もたくさんありました。また、実際に自分で会社に出向いて話を聞くことによって、新たな発見があって、常に新鮮な受験期間でした。
普通の受験とは違い、この受験は個人戦ではなく、いろんな人に頼っていいと思います。たくさんの人に頼って、他人からの意見を素直に受け入れられる人がこの受験に向いていると思います。

立花　桃茄
●星薬科大学 薬学部 薬学科

- 入試概要　試験日は１日（午前が学力テスト、午後が面接）
学力テスト…数学、化学、英語（リスニング無し）の３科目。全てマークシート。
- 志望動機　大学のオープンキャンパスにたくさん参加した中で、自分が学びたいことなどに力を入れていて、大学側が提示する薬剤師像が自分の理想と近いところに魅力に感じたから。
- 本格的に決心したのは、２年の夏。それまでは、付属推薦や指定校も考えていた。しかし、オープンキャンパスに参加したことで「絶対にここの大学に入りたい！」と思える大学を見つけた。
- どの教科も試験時間が短く、問題数が多いため、模試や赤本を活用して時間配分や点を取りやすい自分なりの解き方を見つけた。２年の夏休みまでにひたすら演習を繰り返して、センターの過去問も使って不足している知識を身につけた。夏休み後からは赤本を中心に勉強をすすめ、過去問の研究をした。
- 学校の先生方にお願いをして、面接練習を見ていただいた。また、医薬分業やチーム医療など薬剤師に関わる言葉について調べて、メリットやデメリットを踏まえて自分の意見を言えるようにした。
- 勉強時間は、部活のある日は３時間、無い日は５時間、休みの日は８時間、長期休みは10時間を目標にした。学校が終わったらすぐ塾の自習室に行って勉強することで、周りの緊張感や焦りも感じてモチベーションを維持した。
- 実際に体調やメンタルが崩れてしまったときは、ほとんど勉強はしていなかった。その日はとことん休んで、気分転換をして、次の日から気持ちを切り替えた。
- 出来るだけ早めから、たくさんのオープンキャンパスなどに参加すること！早めに志望校が決まればその分準備もできるし、大学の先輩からの話を聞くなど、勉強などに対するモチベーションも上げられる。
- 普段から復習をやっておくこと！苦手分野を少しでも減らしておくと、本格的に受験勉強を始めたときに楽になる！私自身、やっておけばよかったと思うところがたくさんありました。
- 正直、つらいこともたくさんあったけれど、勉強面以外にもたくさん得るものがありました！私は精神的に弱い部分もあり、受験期が近くなるにつれてよく体調も崩していました。けれど、周りの友達が気にかけて声をかけてくれたり、たくさんの先生方に励まされたり、家族が厳しい言葉で背中を押してくれたことで、最後まで諦めず頑張れました。
- 試験を受けるときは１人だけれど、受験は１人じゃない！たくさんの人に支えられて、応援されてできた受験だと思いました。だからこそ、最後まで自分の行きたい大学を諦めずに頑張って欲しいです！！応援してます！！！

田倉　宏之助
●順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科

- 私は理学療法士として怪我から復帰を目指すアスリートのサポートをしたいという夢があり、そのためにスポーツ医療を学ぶための専門のカリキュラムのある順天堂大学保健医療学部理学療法学科を志望した。
- 順天堂大学保健医療学部理学療法学科のアドミッションポリシーの中に「理学療法士になる意思が強く、目標達成のために様々な方法を見つけ、粘り強く努力を続けることのできる人」という項目があり、高校二年生の時に肘の手術を受け野球が半年間出来なかった時も、実戦復帰をあきらめずリハビリやトレーニングに励んだことから、目標に向かって努力を重ねられることを私の自己アピールとした。
- 大学入学までではなく、卒業後どのような形で社会に貢献できるかまで考える。

梅津　葵
●東京都立大学 健康福祉学部 看護学科

- 総合大学である東京都立大学に入学することで、他学部の学生や留学生との交流ができ多様な考え方や、宗教、語学を学ぶことができるため。学生時から外国の患者がいらっしゃる病院での実習が可能なため志望した。
- 自分の今まで経験してきたことをすぐに引き出せるようにしておいた。
- 面接練習は、受験日の１ヶ月前から始めた。面接ノートに聞かれたこと、自分の答えたこと、もらったアドバイスを書き込んだ。
- やってみて良かったこと　英語ノート、面接ノート、小論文ノートを作ったこと、職業について調べたこと、ドラマを見ていたこと。
- 失敗談としては、小論文などをもっと早く対策し始めればよかった。
- アドバイスは、自分についてしっかり理解して、自己アピールをできるようにすること。入学したい！と強い思いを持って勉強をすることが大切だと思います。頑張って下さい！

以上５名の報告に熱心にメモを取り、終了後さらに質問をしていた１・２年生の様子が印象的でした。来場者からは「先輩方の熱意が聞けて良かった。」「今日からしっかり取り組んでいきたい。」「小論文や志望動機をこんなにも書き直して取り組んでいることが分かった。」「私も受験を頑張ろうと強く思いました。」などの感想がありました。この合格に多くの後輩たちが続いてくれることを期待しています。

学年レポート　令和元年度この一年

一学年を振り返って

第一学年主任
久保田　善政

昨年四月に期待と不安を胸に校門をくぐった入学式からまもなく一年が経ちます。一年生にとってこの一年は中学生から高校生へと新たな環境に踏み出した変化の年でした。四月五月の頃は中学を卒業したばかりで、まだあどけなさが残る表情でしたが、現在は高校生として表情や心、体、行動ともに成長が感じられます。

四月六日入学式、鶴ヶ丘高校の生徒としての生活がこの日から始まりました。みんな緊張していて表情は硬く、初めてのホームルームはとても静かでした。四月十二日から二泊三日で富士緑の休暇村オリエンテーション。入学間もない時期で、お互いにお互いのことが分からない状況での宿泊行事。不安がとても大きかったと思います。みんなと食事をし、自己紹介、委員や係決め、チームビルディングの課題に取り組み、多くの仲間と関わって協力し合ううちに表情が和らいできました。綱引き大会では大きな盛り上がりを見せていました。

六月十五日高大連携教育として大学学部のキャンパスに行って授業を体験。難しい内容でしたが、メモを取り、懸命に取り組む姿が多く見受けられました。そして六月二十二日から二日間鶴ヶ丘祭。この日に向けて長い時間話し合ったり、考えたり、役割分担していろいろなものを作っていました。この頃になると、お互いのことがある程度分かり、人間関係にも慣れてくることから、言い争いが起きたり、様々なトラブルが発生した時期でもありました。そのような中でひとつのものを作り上げることは大変なことであり、完成まで到達するのは困難なことであったはずです。しかし当日にはすべてのクラスで趣向を凝らした作品が出来上がり、お客様を楽しませるために懸命になっていました。鶴ヶ丘祭の準備から発表までの期間で体験したことや達成感は大きな財産になったことでしょう。

十一月一日体育祭、本校の体育祭は学年を縦割りにして四色に別れて優勝を争うもので、一年生は先輩たちの後姿を見て応援合戦や競技に参加していました。三年生がリーダーとなった色別の応援合戦に参加した一年生は、当初恥ずかしがっていましたが、本番では大きな声を出し、楽しんでいました。学年種目はクラス対抗の台風の目と全員リレー。クラス全員が気持ちを一つにして取り組み、大きな盛り上がりを見せていました。

一月、日本大学文芸コンクールの結果発表。本校も含め日本大学の全付属校から出された俳句・短歌・詩・小説・読書感想文の多数の応募作品のなかで、本校の受賞者は十二名。その中でも一学年は九名と多数入賞しました。

普段の授業や部活動、委員会活動、様々な学校行事も含めた学校生活全体が、学び方を学び、様々な価値観を持った人と関わり、自分自身の課題の解決のためにお互いに力を貸し借りする、といった経験を積む機会に満ちています。これらは十年後、二十年後、三十年後に社会人として活躍するために必要な力です。一ヶ月も経たないうちに新一年生が入学してきます。先輩としての自覚を持ち、より積極的に学校生活を送り、二年生になっても多くの仲間と多様な経験・体験を積み重ねて学んでくれることを期待しています。

第二学年の振り返り

第二学年主任
中川　光

今年度から第二学年主任を拝命し、新体制で始動した。第二学年は高校生活の中でも貴重な思い出につながる修学旅行を実施する年であった。平成から令和へと元号が変わり、また大学入試改革にも注目が集まるなど、個人的にも一生忘れることのできない激動の年となった。紙面をお借りしてこの一年を振り返りたい。

☆今年度第二学年全員の達成目標
《第一志望を確定しよう！》
☆四月の月間目標
《二年生の生活習慣の確立！》

理系クラス四クラス（A～D組）は一号館四階、文系クラス（E～K組）は三階～二階、特進コースは体育館横の特進棟に移動して二クラス、合計十三クラスでスタート。

☆五月の月間目標
《二年最初の中間試験で好スタートを！》

五月八日　校外学習

内容については、鶴報第二三八号（二〇一九年七月二十日）九頁を参照。

☆六月の月間目標
《文化祭に向けてクラス一丸となって取り組もう！》

六月二十二、二十三日　鶴ヶ丘祭

修学旅行を実施する年度であるので、世界各国の文化に着目し、クラスが選択した国に関連する体験型の展示を実施した。クラスごとにバラバラに展示をするのではなく、学年が一つのテーマに基づいて取り掛かり、世界ツアー型の展示に仕上がった。また学年独自のスタンプラリーを実施。鶴ヶ丘祭実行委員が手作りで作成したスタンプは、全クラスを回ると地球の絵が出来上がるもので、時間のない状況の中で苦心の跡が伺える大作であった。生徒たちは本当によく頑張ったと思う。学年のまとまりを実感できる二日間であった。

六月二十六日　学年集会

内容：①学年主任挨拶、②一学期の振り返り及び夏休みの過ごし方（生活指導部副主任　賀来義蘭先生）、③オープンキャンパス参加について（進路指導部副主任　小山拓哉先生）、③校外学習オリエンテーリング表彰

☆七月の月間目標
《二年の夏を有意義に過ごそう！》

修学旅行中の自主研修ルートの作成

☆九月の月間目標
《学校行事、部活と学業のバランスをは

かろう！》
　修学旅行で実施する学校交流の出し物の検討、決定。現地スタッフとの連絡・連携の中での作業であったため、多忙を極めた。
☆十月の月間目標
《中間試験と修学旅行で成功をおさめよう！》
　十月十五日～二十一日　修学旅行
　内容、行程についての詳細は本誌の蔦原先生の報告記事を参照。
　オプショナルツアーの一つであった「スコーミッシュコース」は、実施直前に何者かによってロープウェイのロープが切断されたため、稼働できないとの理由でキャンセルになってしまった。スコーミッシュコースは新コースとして楽しみにしていたこともあり、大変残念であった。また先発組のオプショナルツアーの一つであった「カヌー体験」が、現地のメインスタッフの急逝の報を受け、これまた急遽キャンセルになってしまった。さらには雨天続きで太陽を拝む機会が少なかったこともあり、波乱づくしの修学旅行であった。しかしながら、幾つかのトラブルを乗り越え、教員も含めて大きなケガもなく、無事帰国できたことに大変感謝している。
　十月三十日　大学模擬講義
　五十分×二コマで、各分野の研究をされている講師を招いての受講。私は北里大学医療衛生学部の講師から医療検査についてのお話を伺った。実際の現場の内容も含まれていて大変興味深かった。今後の進路選択において、更に興味・関心を深めることにつながった。
☆十一月の月間目標
《進路選択に向けてシフトチェンジを！》
　十一月一日　体育祭
　好天の中、今年度は初めて生物資源科学部のグラウンドで実施された。昨年実施できなかったこともあって、個人としても心躍る行事となった。B、D、H組は赤団、C、F、K組が白団、A、I、L、M組が緑団、E、G、J組が青団と、四色に分かれて競技が行われた。総合優勝は白団。応援合戦で披露した白組の「ソーラン節」は大変爽快かつ若さ溢れるものであった。
☆十二月の月間目標
《期末試験に向けて全力を注ごう！》
☆一月の月間目標
《三年〇学期の意識を持とう！》
　一月十五日　学年集会
　内容：①学年主任挨拶②「高校二年三学期を迎えるにあたって」（ベネッセコーポレーション　小川　舞氏）③「一月英検全員受験にむけて」（英語科　蔦原玲先生）
　この後は二月六日「芸術鑑賞教室（劇団四季「キャッツ」於：大井町）」、二月二十一日「三年生を送る会」、三月一日「卒業式」、三月三～六日に学期末試験が控えている。
　三学期から月間目標「三年〇学期」を掲げ、受験に向かって徐行運転を開始した。いよいよ来年度は最高学年三学年である。残り二か月余りで今年度も終わる。学年が抱える壁を一つ一つ乗り越え、教員生徒共に一丸となってこの新しい時代を勇往邁進していきたい。

令和元年度の卒業を迎えて

三学年主任
伊沢　康子

　この鶴報の文章を書き始めて、「卒業」の文字が心に染み込む。今までの日常を変える力を持ち、喜びと寂しさを持つ言葉である。子供のころから言われてきたことが実感できる年齢になった生徒達は、今この「卒業」をどのような言葉で表すのであろう。また「卒業」の先にある道がどのように見えているのであろう。三年前の入学式で、保護者の皆様に社会貢献のできる人物になるように育てたいと言ったのだが、この先の道にそんな思いが芽生えていてくれていたら、私としてはうれしい。
　三年生になって、四月から進路について、また「自分」というものについて、生徒は不安な時もあっただろうし、真剣に考えた時もあったと思う。一年次から少しずつ自分の道を一瞬でも考える機会を与えてきたつもりだが、現実に直面すると混乱してしまった者もいたと思う。答えが出なかったかもしれない。だが、それはそれで素晴らしいことである。また、急を要して出した答えの者もいたように思う。だが、一度も考えたことのない道を選択していないはずだ。三年間を見返してみると、不思議なことに生徒が選択した道は、先生に提出した書類のどこかに、予め書いてあったりするから面白い。では、教育した甲斐はあったのだろうか。この三年間に私としては自信を持ちきれない部分もあるが、その道が長く太くなって見えてきていたらと夢を見ている。
　学校という場所は、生徒では気が付けない仕掛けがたくさん散りばめられている場所だ。そのような仕掛けだと気が付いていてもいなくても、生徒たちは目の前にある課題に挑戦してくれた。敢えて先生が何もしないことで生まれた作品もあった。敢えて「なんでもいいよ」といったら、想像を超えた作品もあった。私自身も生徒に驚かされる作品があった。それもこれも生徒自身が、とても協力的で、とても良い人間だからである。このまま信頼のおける人物になっていくことを願っている。この学年は、元号から始まって、すべてが狭間の年回りで、つまり最後と最初を持っている学年でもある。平成から令和になり、大学受験もセンター試験の最後の年になる。最後は最初を作る大事な役目がある。生徒たちには新しい時代を作る人として「卒業」していってほしいと願う。
　保護者の皆様のご理解とご協力があって「卒業」が迎えられます。入学式から始まって、学校の煩雑な書類等に目を通し、学校に信頼を寄せていただきました。様々な場面で、その温かさに助けていただきました。ありがとうございました。
　ご卒業おめでとうございます。

第２学年 修学旅行報告

修学旅行担当　蔦原　玲

10月中旬に行われた、鶴ヶ丘高校の令和初となる修学旅行の思い出を、この場を借りて振り返ってみたいと思う。

この修学旅行に向け、第２学年では「かつてない なんでもやろう 大冒険」というスローガンを作成した。おわかりいただけていると思うが、各語の頭文字を取ると「カナダ」となる。そこだけ取り出すと笑われてしまいそうだが、生徒たちと我々教員の思いがぎっしりと詰まった熱いスローガンである。本校のバンクーバー修学旅行の歴史は長く、ともすると同じことの繰り返しになってしまう。〈なにかやるなら、思いきって新しいことを〉、いつも意識して全員で心を込めて準備してきた。その新しさに何かのヒントがある気がした。

随所にその新しさは散りばめられているのだが、その中でも大きな軸となるものが日系カナダ移民史に関する事前学習と、さらに拡大されたオプショナルツアーである。ただの観光旅行ではなく学校ならではの旅行にするために歴史の暗い部分にも関心を持ってもらうことを前者では意図していた。また、後者のオプショナルツアーには、「興味関心は人それぞれでよく、自分が心惹かれるものや感性に合っていると思うものを主体的に選んでほしい」という願いを込めた。（予期せぬ事件は起こるもので、計画していたツアーの中で実施できないものもあったがそれも含めて生徒たちはよい思い出と言ってくれた。）

私自身、もう５回目のバンクーバー訪問であったが驚くほどたくさんの発見と懐かしさに満ちた旅になった。パスポートを初めて持って出かけた時の落ち着かない感じ、外国の香り、家族のもとを離れる不安と高揚感、勇気を出して発した言葉が通じた時の独特の喜び、自分の持つ言葉の少なさに気づいた時の悔しさ、日本とは違う角度の山、知らない種類の葉っぱや実、様々な見た目の人々……。17歳の今の自分しか持てない感性で、未知のものと触れ合ってそれこそ「大冒険」している生徒たちの目を通して、私たち教員もまたもう一度新しい旅ができたのではないか。彼らの思いが詰まった感想文をたくさん読み、一人ひとり全く違った形で思い出を心の中にしまっていることが確認でき、人の一生でおそらく一度だけの修学旅行に関わらせてもらっていることに幸せを感じた。

この思い出はきっとそれぞれの心の中で形を変えて、生徒たちの人生の中で予期せぬ形でまた現れるのだと思う。その時また改めて、この素晴らしい旅行を作り上げるにあたって力を貸してくれた人たちや、共に一生ものの経験を積んだ友人たちに再び感謝してほしいと願う。

行程概略

１日目	成田空港→バンクーバー国際空港→グランビルアイランド／ローンズデルキーマーケット
２日目	現地校にて学校交流→ショッピングモール
３日目	カーリング・オーバル体験→UBC→クイーンエリザベスパーク
４日目	オプショナルツアー→市内自主研修
５日目	ピースアーチ→バンクーバー国際空港
６日目	成田空港着

〈生徒作成のポートフォリオより〉

「価値観を変えてくれたカナダ」

２年A組　米田　仁貞（太子堂中）

カナダへの修学旅行を通して学べたことはとても多かった。まず、学校交流。自分の英語の出来なさを痛感した出来事だった。自分から話しかけることもできず、話しかけられても何を言っているのかわからず、唯一完璧に理解できたのは“How old are you?”ぐらいの簡単なもの。バディの子には申し訳ないくらい話せず、友達になることはできなかったと思う。失敗に終わった修学旅行の出来事だと思った。しかし、その出来事から学べたことは修学旅行中の他の出来事よりもはるかに大きく、自分の英語に対する意識や勉強するにあたっての考え方が変わった。学校交流を終えて、これこそが英語を勉強する理由、また、英語を勉強するにあたっての最終目標だと思った。今までは英語を勉強するとき、テストで点数を取れればいい、話せるようになればいいなど、とても抽象的な目標しかなかった。この学校交流でこの英語に対する意識が変わった。これからは英語を勉強するときに具体的な目標を考えながら学び、翻訳する機械などに頼らず自分から話せるようになろうと思った。

カナダの街並みは画像などでしか見たことがなかったが、街は都会と自然が融合しているような感じで空気も綺麗、東京との違いを感じた。家には庭があり、よく洋画で見るような感じで見ていてとても楽しかった。

バンクーバーは住みやすい町だと思った。物価は高いが、人も優しく、また来てみたいと思えるような町だった。この６日間、いろいろなことを体験することができてとても楽しかった。英語ができればもっと楽しめたと思うので、いつでも英語が話せるように英語を一生懸命勉強して国際的な人間になろうと思う！今からでも遅くはない。

「友に感謝」

２年M組　橋本　萌花（牛込三中）

カナダでの４泊６日の修学旅行は、私にとって初めての海外経験であり、改めて英語を聴き取る・話す力の大切さを実感したものとなった。 特に英語の大事さを痛感したのは、２日目にBurnaby North Secondary School で行った学校交流のときだった。現地の学生とペアになって半日生活しなければならず、英語に対して苦手意識があった私は、この日が来ることを正直不安に思っていた。マッチングが終わりついに２人きりになったとき、最初はバディが何を話しているのか分からず何回も聞き直してしまい申し訳なく思った。徐々に耳が慣れてきてコミュニケーションが取れるようになり、初めて英語を楽しいと思えた。今までの英語の学習では、文法の勉強をしなきゃ、とか、話せるようにならなきゃ、と思っていたが、それよりも更に語彙力やリスニング力が必要なのだと気づいた。これからの勉強でも同じことが言えると思うので、語彙力とリスニング力を特に伸ばしていけるように励みたい。

６日間、ずっと友達と過ごす生活は本当に楽しかった。３日目のオーバル体験と４日目のキャピラノ吊り橋は特に楽しかった。オーバルでは、様々なスポーツを体験したりオリンピックのメダルを生で見たりという貴重な体験をさせてもらった。キャピラノ吊り橋は、橋を渡ったら終わりだと思っていたが、飾り付けがされていたりお店があったりして、想像を遥かに上回る楽しさだった。

きっと１人だったらいくらカナダが綺麗でもつまらなかったと思う。みんなと一緒に沢山の場所を回れたからこそ、こんなに良い思い出になったので、友達に感謝したいと思った。

女子団体形・女子団体組手　出場

■ゴルフ部
▽令和元年度関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会高校女子決勝の部　出場
後藤　真采(２D・犬蔵中)
小山　蒼未(１C・玉川中)

■ウエイトリフティング部
▽レディースカップ 第11回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会（11月21日～23日 於：鹿児島県 入来総合運動場体育館）
女子59kg級　トータル158kg　４位
橋本 夏実(２M・東村山四中)
▽令和元年度 東京都高等学校新人大会、関東/全国選抜大会予選会(11月30日 於：武蔵野の森総合スポーツプラザ)
男子73kg級　トータル 135kg　１位
田中　寧栞(１D・高島三中)
男子81kg級　トータル191kg　２位
小林(２F・三沢中)
男子89kg級　トータル207kg　１位
蛯名　廉(２M・落合二中)
男子96級　トータル217kg　１位
田中　健太(２F・十条富士見中)
女子59kg級　トータル98kg　１位
植田　美優(１F・中野八中)
▽令和元年度第35回関東高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会(１月11・12日 於：横浜市磯子スポーツセンター)
男子 81kg級　トータル 215kg　５位
小林
男子 89kg級　トータル203kg　５位
蛯名　廉
男子 96kg級　トータル 225kg　３位
田中　健太
女子 59kg級　トータル161kg　２位
橋本　夏実

■放送部
▽第42回東京都高等学校文化祭放送部門
(予選11/３・決勝11/24)
【オーディオドラマ部門】
第２位　Notice
制作代表：稲垣　晴香(２M・生田中)
※東京都教育委員会賞

■演劇部
▽第２回大コント祭(12/12 多目的ホール)
▽第１回藤二鶴公演(日大藤沢・二高・鶴ヶ丘合同公演)
３/29上演予定(日大二高記念ホール)

■吹奏楽部
▽TAMAアンサンブルフェスタ(12/27)
バリトン・チューバ４重奏　銀賞
サックス６重奏　銀賞
▽第43回東京都高等学校アンサンブルコンテスト(１/５～６)
クラリネット４重奏　銀賞
打楽器５重奏　銀賞
▽第九支部親睦音楽会(１/12)
▽第47回定期演奏会(３/18)

■バトントワリング部
▽令和元年11月東京都バトン協会バトントワーリングコンテスト 品川区大会
初級・中級　金賞・銀賞受賞
西川　歩花(２B・上尾中)
中級金賞受賞
島崎　玲(２D・国分寺一中)
中級金賞受賞
佐藤　里穂(２K・さいたま市三室中)
中級金賞受賞
▽令和元年第24回シニアバトントワーリングフェスティバル
２年生出演
▽令和２年第33回関東バトントワーリングチームコンテスト
初級部門　出場

■茶華道部
▽和菓子実習(12/26)

■料理部
▽日本大学自主創造プロジェクト(９/14)
▽体育祭用マドレーヌ提供(200個、11/１)
▽デンマークの子どもたちにおもてなしお菓子提供(11/22)
▽ケーキ講習(12/23)

令和元年度 芸術鑑賞教室

令和元年　２月６日（木）、大井町キャッツシアターにて、芸術鑑賞教室が行われた。今年度の演目は、劇団四季ミュージカル「ＣＡＴＳ」。一流の歌とダンス、豪華な舞台セット、飽きさせない工夫たっぷりの演出で構成される２時間弱はあっという間に過ぎた。

『ＣＡＴＳ』を鑑賞して

２年Ｉ組　高橋　千尋（成瀬台中）

劇団四季で劇を観るのは２回目でしたが、やっぱりすごかったです。まず、劇場に入ってセットの緻密さに驚きました。どこを見ても隙なく観客を楽しませる工夫があってしっかり作り込まれているなと感じました。事前学習でなんとなく、名前は知っていたので猫が出てきたときからあの猫はこれからこんなことをするんだなとわかってより一層楽しめました。また、最初の登場するシーンで、暗闇で猫の目が光って見えるところからすごいと思いました。他にも客席に猫が来て観客に語りかけたり、歌いながら駆け巡ったりと、劇場全体を使って演技するスタイルは劇団四季ならではだと改めて感じました。

猫のそれぞれの自己紹介、他己紹介をバレエのような踊りで表現したり、タップダンスで表現したり、はたまた歌で表現したりと多彩な演出で見ていて飽きませんでした。中でもマジシャン猫と鉄道猫の場面が面白かったです。マジシャン猫のシーンでは煙が出たり、テープをとばしたり、くるくると何回も回転したりと、派手な演出でした。何回も回っているのに軸がぶれなくてすごいなと思いました。鉄道猫のシーンは猫たちが協力して鉄道を作り上げる場面が圧巻でした。

最後の一匹に選ばれた猫は意外でしたが、天に昇るところの演出もすごかったです。見る前は猫を人間が上手く演じることなんてできるのかなと少し思いましたが、なめらかな猫らしさがちゃんとでていて、猫にしか見えませんでした。また、衣装も着こなしていて、体重管理や演技の練習が大変なんだろうなと演者のすごさが身に染みました。調べてみたところ、化粧は自分でするようで、慣れた手つきで猫の顔描いていく様子を動画で見て化粧まで自分でやるのは大変だけどすごいと感じました。また、機会があれば劇団四季の公演を観にいきたいです。

部活動報告

■スキー部

▽全国・関東高等学校スキー大会東京都予選会
（1/5～1/8 於：鹿沢スノーエリア）
女子スラローム（選考会）
第３位　佐藤　亜海（２C・西新宿中）
第４位　小澤知華子
（２A・筑波大付属中）
第12位　西郷　姫奈（２A・立川三中）
女子スラローム（本大会）
第16位　大門　由真（２F・立川四中）
第18位　佐藤　亜海
第20位　並木　日和（３I・新座中）
第21位　山本　椋子（３D・府中五中）
第26位　小澤知華子
男子スラローム（選考会）
第38位　大月　拓人（３B・稲城四中）
第52位　内野　大地（３C・立川二中）
第64位　村野　太一（３G・中野島中）
第66位　横溝　大知（２C・大森四中）
第70位　青柳　一樹（２G・松か谷中）
第78位　新井　悠斗（２B・三鷹五中）
第86位　狩野　聖基（２I・品川学園）
第88位　山田　雄大（２C・狛江四中）
男子スラローム（本大会）
第８位　戸田　直人（３G・桜が丘中）
第49位　大月　拓人
第86位　内野　大地
第93位　横溝　大知
第101位　狩野　聖基
第106位　村野　太一
女子ジャイアントスラローム（選考会）
第２位　小澤知華子
第８位　佐藤　亜海
第９位　山本　瑛菜（３B・府中六中）
第12位　西郷　姫奈
女子ジャイアントスラローム（本大会）
第19位　大門　由真
第20位　山本　椋子
第26位　小澤知華子
第30位　並木　日和
男子ジャイアントスラローム（選考会）
第23位　大月　拓人
第37位　村野　太一
第50位　内野　大地
第65位　狩野　聖基
第79位　出口　陽翔（３D・戸田中）
男子ジャイアントスラローム（本大会）
第６位　戸田　直人
第45位　大月　拓人
関東大会出場
（女子）
大門　由真・小澤　知華子・佐藤　亜海・並木　日和・山本　椋子
（男子）
大月　拓人・戸田　直人
全国大会出場
（男子）
戸田　直人

■陸上競技部

▽第70回全国高等学校男子駅伝競走大会東京都予選会（11/２）
39位　２時間29分34秒
１区　山崎　統吾（１F・西中原中）、
２区　辻井　亮羽（２M・南中山中）、
３区　櫻井　晴（２E・玉川中）、
４区　長澤　壮大（２K・千歳中）、
５区　田村　友成（１C・田奈中）、
６区　後藤　遼太（１D・銀座中）、
７区　野澤　雅治（２B・南浦和中）

■野球部

▽令和元年度秋季東京都高等学校野球大会
一次予選（24ブロック）
９/７　１回戦
本校６-２都立武蔵高校
９/14　ブロック決勝
本校５-０正則学園高校
本大会　10/19　１回戦
本校２-４関東第一高校

■女子バスケットボール部

▽Ｒ１年度　新人大会
11/３（日）　本校69-62中央大学高
11/４（月）　本校70-61山脇学園高
11/17（日）　本校63-89松蔭高

■男子バレーボール部

▽東京都新人大会（11/３）
～予選リーグ～
本校０-２東大和
本校２-０京華学園
▽私立中高バレーボール大会（12/15）
２回戦　本校０-２日大三

■女子バレーボール部

▽新人リーグ（11/３、11/４）
本校０-２文大杉並
本校０-２福生
本校０-２東亜学園
本校２-０東
本校２-０東京女学館
▽新人２部大会（11/10、11/23）
本校２-０駒込
本校２-０江東商業
本校２-１大森
本校２-１大東文化一
本校１-２第一商業
第３位
▽冬季私学大会（12/15）
本校２-０青陵
本校０-２駒大高
ベスト64

■アメリカンフットボール部

▽第19回スティックボウル（関東高校選抜対抗戦）12/28@アミノバイタルフィールド
東京A27-30ＳＩＣ選抜
東京Ｂ３-34神奈川選抜
本校から、以下の８名が選出され出場した。
ＴＥ/Ｋ/Ｐ　内山　尋貴（２A・蓮沼中）・
ＱＢ　近藤　久雄
（２A・静岡大附属浜松中）・
ＬＢ　近藤　大祐（２B・弦巻中）・
ＯＧ　柚木　哲太（２E・南大師中）・
ＷＲ　国分　佑斗（２H・南菅中）・
ＤＬ　山田　晋義（２H・浅草中）・
ＲＢ　渡邉明輝人（２H・港南中）・
ＯＧ　横沢　英輝（２J・武蔵野二中）・
マネージャー
櫻井　莉子（２H・光が丘三中）
また、山田晋義は副将に任命され、試合でも活躍し優秀選手に選出された。
▽第９回ニューイヤーボウル（関東地区選抜・関西地区選抜対抗戦）１/12@富士通スタジアム川崎
東京選抜21-０京都・滋賀・東海選抜
本校から、以下の４名が選出され出場した。
ＴＥ/Ｋ/Ｐ　内山　尋貴・
ＬＢ　近藤　大祐・
ＷＲ　国分　佑斗・
マネージャー　櫻井　莉子
▽インターナショナルボウル2020 １/15 @アメリカ合衆国テキサス州アーリントンAT&Ｔスタジアム（ダラスカウボーイズ本拠地）
U-18日本高校選抜28-20 U-17米国代表
本校から、以下の１名がU-18日本高校選抜チームに選出され出場した。
ＤＬ　山田　晋義（２H・浅草中）
日本代表チームの副将を務める。

■男子ソフトテニス部

▽新人大会（８/24）
ベスト64　村田　勝翔（１A・川口中）
佐藤　優真（２B・烏山中）
▽私立高校新人団体選手権大会（10/６）
ベスト16
林﨑　良太（１F・深沢中）
佐藤　優真
川口竜之介（２C・尾久八幡中）
松井　優成（１C・新座五中）
村田　勝翔
伊東　稜真（１I・清明学園）
▽私立高校新人選手権大会（10/14）
第５位　林﨑　良太　川口竜之介
この結果、全国私立高校選抜大会出場権を獲得
ベスト64　伊東　稜真　松井　優成
▽インドア大会（12/28）
ベスト８
林﨑　良太　松井　優成
川口竜之介　伊東　稜真
戸島　颯大（２H・上石神井）
佐藤　優真　村田　勝翔
富永　雄太（２B・滝野川紅葉）

■女子ソフトテニス部

▽新進大会（11/３）
ベスト16
藤原　美月（２J・稲城三中）・
杉野　海愛（２C・金井中）
▽インドア予選（11/24）
ブロック優勝・決勝トーナメント進出
▽インドア大会（12/28）
ベスト16
▽中野インドア大会（１/12）
３位
藤原　美月・杉野　海愛
岩崎　柚来（２G・深沢中）・
林　麻也子（１H・堅川中）

■バドミントン部

▽新人大会兼全国選抜予選（男女団体）（11/４、10）
女子団体
西ブロックベスト８（都ベスト16）
▽北区高校生オープン大会（シングルス）（12/25）
▽板橋区高校生オープン大会（ダブルス）（12/26）
▽冬季西ブロック大会（男女団体）（１/12、19）
女子団体　Ｉ部　決勝トーナメント
西ブロックベスト８
男子団体　Ⅱ部　決勝トーナメント出場

■剣道部

▽玉竜旗大会（７/24～26）
団体戦
１回戦　大将戦の末敗退
（対　福井工大福井高校）
▽杉並区民大会（10/27）
個人戦
優勝　川口　純奈（２K・清泉中）
３位　濱　ほのか（２I・品川学園中）
▽第５支部大会（11/23）
団体戦　３位
濱　ほのか・
星　彩子（２M・玉川中）・
川口　純奈
個人戦　準優勝
川口　純奈

■空手道部

▽令和元年度東京都高等学校空手道大会「全国総体予選会」（６/16　豊島区立千登世橋中学校）
女子団体組手　第２位
女子個人形　第３位
軍司　佳歩（３C・三鷹一中）
▽令和元年度東京都高等学校空手道大会「秋季新人大会」（10/27　都立六本木高等学校・11/４　国士舘大学）
女子団体形　第２位
女子団体組手　第２位
▽令和元年度第28回関東高等学校空手道選抜大会（１/18～１/19山梨県小瀬スポーツ公園武道館）

第２学年　カナダ修学旅行報告
令和元年　10月15日(火)～10月20日(日)(先発班)　10月16日(水)～10月21日(月)(後発班)